

電気式シャッター付ダクト用換気扇<プラスチックボディタイプ>

浴室・トイレ・洗面所用

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

形 名

VD-10ZCD₂、VD-13ZCD₂、VD-15ZCD₂、VD-15ZPCD₂

取付工事を始める前に必ずこの取付説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。

■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を ⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----	----------------------------------	-----	------------------------------------

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

⊘ 禁	止	⊘ 分解禁止	⚠ 指示に従い必ず行う	⚡ アース線接続
-----	---	--------	-------------	----------

⊘	●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の原因になります) ●内釜式風呂を据付けた浴室には取付けないでください。 (排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります) ●本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけないでください。 (ショートや感電の恐れがあります) ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしないでください。 (爆発や引火の恐れがあります)
⊘	●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。 (火災・感電・けがの原因となります)
⚡	●湿気の多い場所ではアースを確実に取付けてください。 (故障や漏電のときに感電することがあります)

⚠ 注意



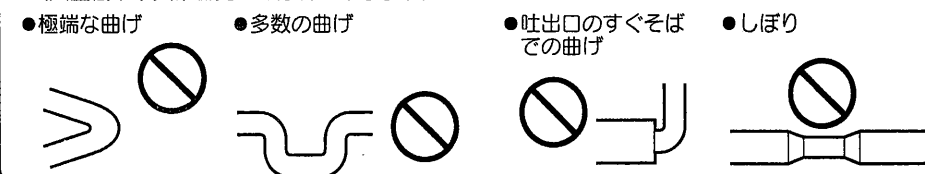
- 浴室内に壁スイッチを設けないでください。
(感電の恐れがあります)
- 直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けないでください。
(火災の恐れがあります)



- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
(落下によりけがをすることがあります)
- 部品の取付けは確実に行ってください。
(落下によりけがをすることがあります)
- 取付けの際は必ず手袋を着用してください。
(けがをすることがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

お 願 い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
(高温では、温度ヒューズが溶断して使えなくなります)
- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちてでも不快にならない場所に取付けてください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード(システム部材)などを取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。
(風量低下や異常音発生の原因になります)

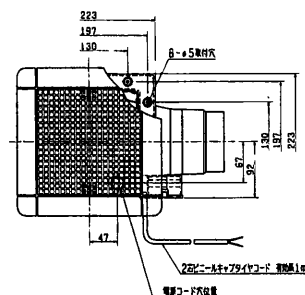
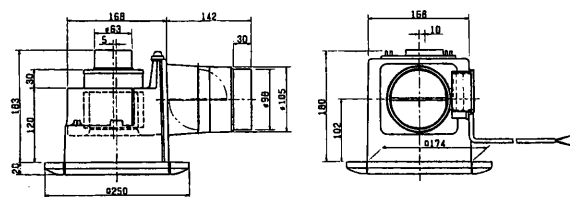


規 制

- プラスチックボディ及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上りダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。

外形寸法図

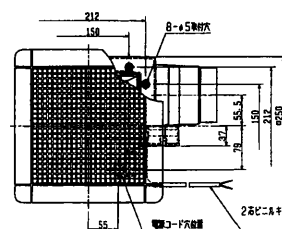
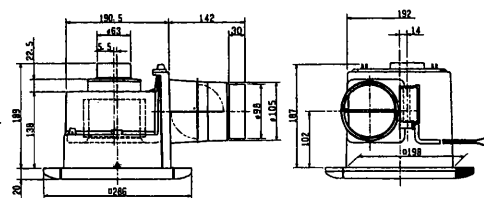
■VD-10ZCD₂



付属部品
木ネジ……………9本
(ステンレス製)

ダクト径
φ100
単位(mm)

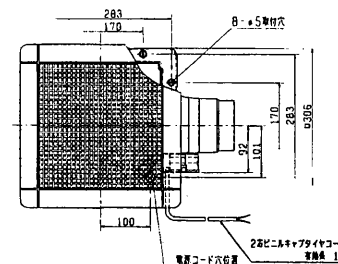
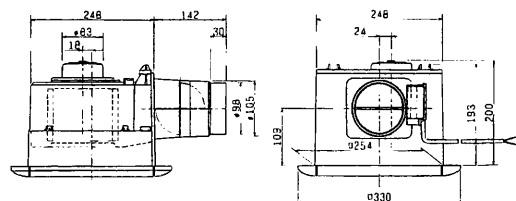
■VD-13ZCD₂



付属部品
木ネジ……………9本
(ステンレス製)

ダクト径
φ100
単位(mm)

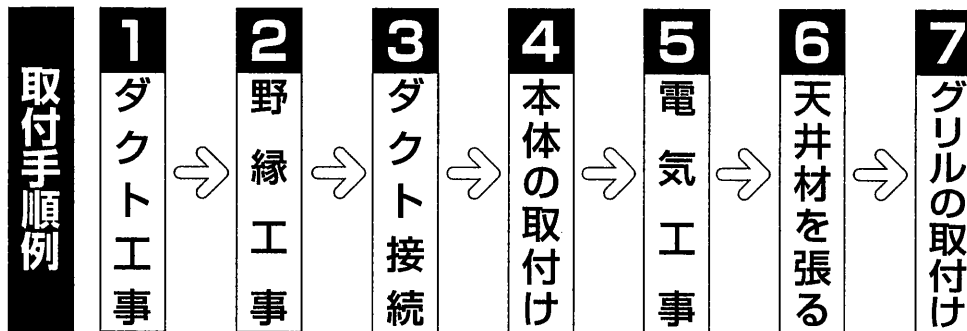
■VD-15ZCD₂ VD-15ZPCD₂



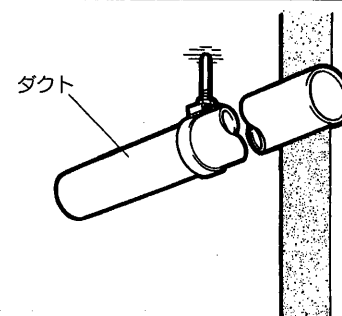
付属部品
木ネジ……………9本
(ステンレス製)

ダクト径
φ100
単位(mm)

取付方法



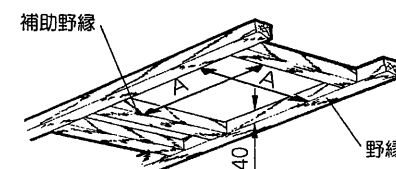
1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管をします。

●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。

2 野縁工事



内寸がA寸法、高さが40mm以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組みます。

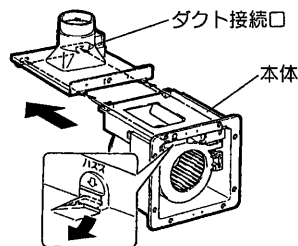
単位(mm)

形 名	A寸法
VD-10ZCD ₂	180
VD-13ZCD ₂	205
VD-15ZCD ₂	260
VD-15ZPCD ₂	260

取付方法 つづき

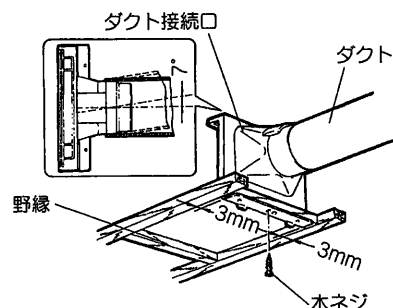
3 ダクト接続

1



本体よりダクト接続口を引き抜きます。
●本体内側のツメを矢印の方向に押えながらダクト接続口を左図のように取りはずします。

2



ダクト接続口をダクトに差し込み野縁に固定します。

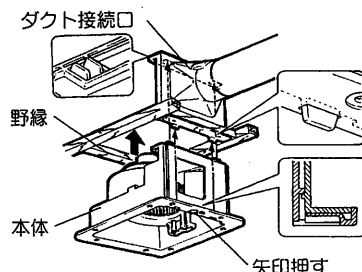
- ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ1本で野縁の中心に固定します。(両サイドに3mmほどのすき間があきます)
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

お願い

- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

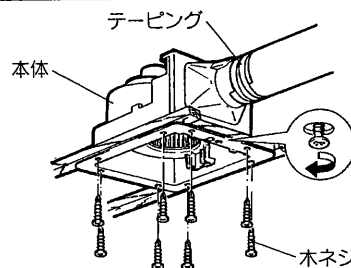
4 本体の取付け

1



- 本体を野縁にそって差し込みます。
- ダクト接続口とはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の角穴を本体下部の突起部にはめ込みます。
 - 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。

2



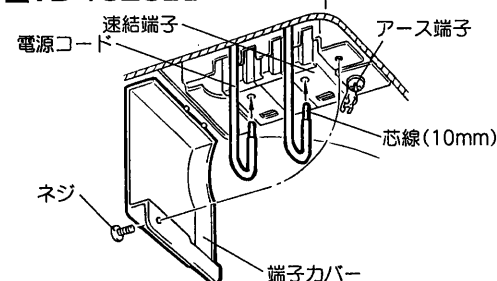
- 本体とダクト接続部を固定します。
- (1)本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようにしっかり固定します。
 - (2)風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングします。

5 電気工事

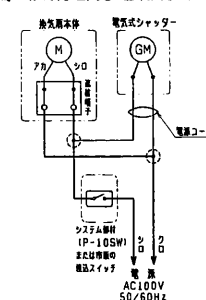
専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

- (1)本体上部のゴムブッシュより電源コード(屋内配線VVFケーブルφ1.6、φ2)を通します。
 - (2)端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差し込みます。(結線図参照)
 - (3)浴室など湿気が多いところで使用の場合は、アース端子を使用して必ず接地工事(アース)を行ってください。
 - (4)端子カバーを元通り取付けます。
 - (5)電気式シャッターはダクト接続口側面の電源コードに結線します。(結線図参照)
- ※必ず電気式シャッターと換気扇が連動するように並列に配線してください。(結線図参照)

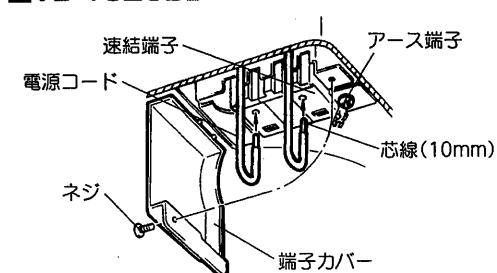
■VD-10ZCD₂



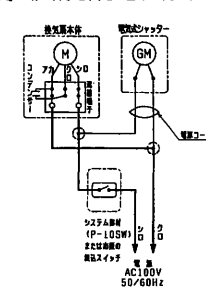
■結線図 (太線部分を結線してください)



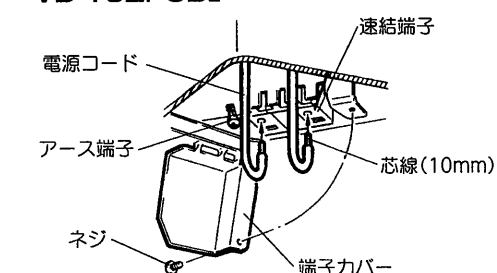
■VD-13ZCD₂



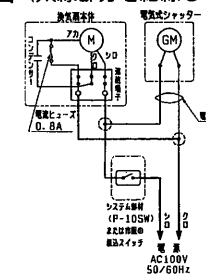
■結線図 (太線部分を結線してください)

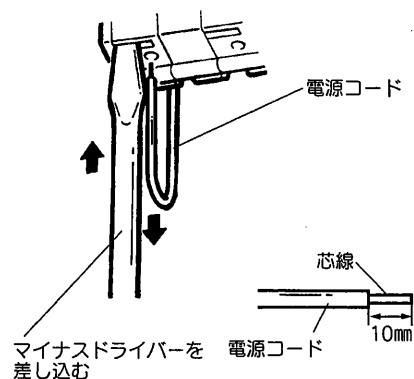


■VD-15ZPCD₂ VD-15ZPCD₂



■結線図 (太線部分を結線してください)

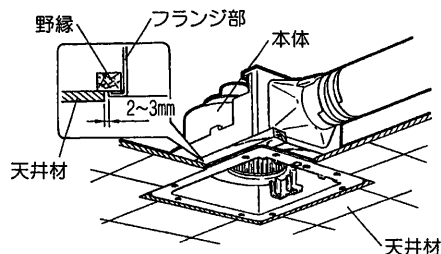




お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電線被ふくは10mmむいてください。本体にあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。(10mm以上むくと漏電の原因になります)
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
- 電源コードを速結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っばってはずしてください。
- 結線図(ページ左下)の○部分の配線接続部はジョイントボックスに納めてください。

6 天井材を張る



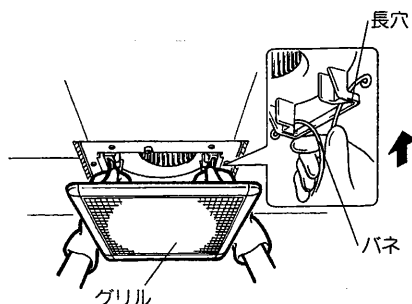
天井材を張ります。

- 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあけます。

お願い

- 本体のフランジ部分と天井材の間にすき間がないと電気式シャッターのモーターメンテナンスの際、本体がおろせなくなり、点検口が必要となります。

7 グリルの取付け



グリルを取付けます。

- グリルには、2つのバネが付いていますので両手でバネをつかみ長穴に差し込み、手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させます。

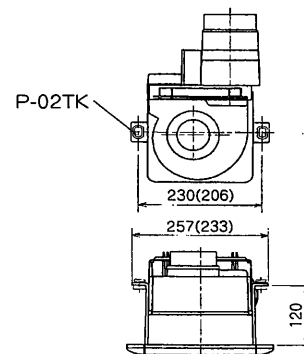
天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も併用してください。

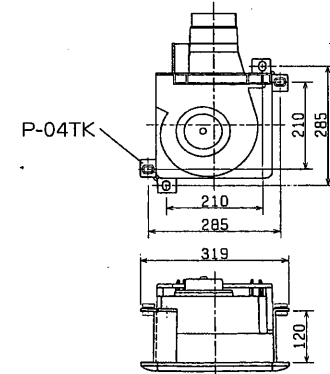
1. 下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋め込みます。

■VD-10ZCD₂
■VD-13ZCD₂

■VD-15ZCD₂
■VD-15ZPCD₂



単位(mm)

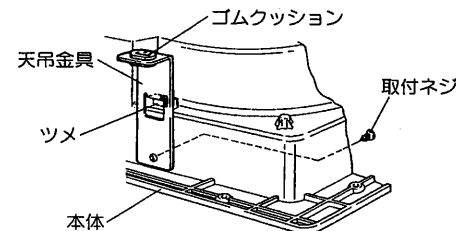


単位(mm)

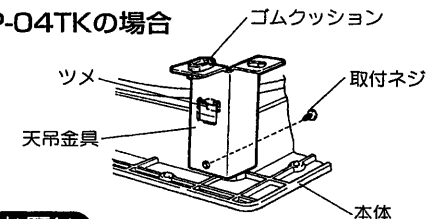
※()内寸法はVD-10ZCD₂を示す。

2. 天吊金具(システム部材)のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定します。

P-02TKの場合



P-04TKの場合



お願い

- 必ずダクト接続口を先に取付けてから天吊金具を取付けてください。逆の場合はダクト接続口が取付けられません。

3. 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか?
2. 振動・異常音はありませんか?

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111